

## 『鳥取西部地区労働災害多発警報』を発令

～働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれるようなことは、本来あってはならない～

鳥取労働局（局長 かわのすみとも 河野純伴）及び米子労働基準監督署（署長 かんだてつろう 神田哲郎）では、県内の平成 26 年の労働災害が前年に比べ 19.1%増加し、特に西部地区の割合が県内全体の 56.5%を占めたことから、平成 26 年 5 月 30 日（金）9:30 より米子地方合同庁舎 4 F 大会議室において、西部地区の労働災害防止団体、公共工事発注者等合計 31 団体・機関（60 名）を招集して「鳥取西部地区緊急労働災害防止対策会議」を開催しました。



会議では、冒頭、神田米子労働基準監督署長から、「鳥取西部地区緊急労働災害撲滅運動（実施期間；平成 26 年 5 月 30 日～同年 7 月 7 日）」の趣旨説明を行いました。

続いて、河野鳥取労働局長から、「鳥取西部地区労働災害多発警報」の発令を行い、引き続き、中島章文米子労働基準監督署安全衛生課長から、「協力者の実施事項についての依頼」の説明を行いました。



「鳥取西部地区緊急労働災害撲滅運動」の趣旨説明を行う  
神田米子労働基準監督署長



「鳥取西部地区労働災害多発警報」を発令する河野鳥取労働局長



「協力者の実施事項についての依頼」で安全衛生の「見える化」を説明する  
中島安全衛生課長

その後、出席した各労働災害防止関係団体を代表して、一般社団法人鳥取県労働基準協会西部支部 永東康文支部長、境港水産加工業労働災害防止協議会 越河彰統会長並びに王子製紙株式会社及び協力会代表 大場英之王子製紙株式会社米子工場取締役工場長から、それぞれ労働災害防止に向けた「決意表明」が行われました。



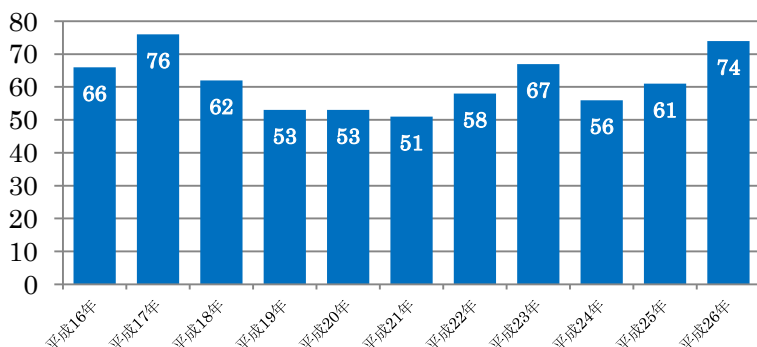
河野局長・神田署長を前にして、労働災害防止に向けた「決意表明」をする境港水産加工業労働災害防止協議会 越河会長

鳥取労働局及び管内の労働基準監督署においては、今後とも、労働災害の防止を最重点施策の一つとして取り組んでまいります。

【鳥取県内の労働災害発生状況の傾向（平成26年4月末時点）】

- 県内全体で死傷者数 131 人、前年同期に比べ 19.1%の増加
- 発生地区別の割合は、西部 57%（74 人）、中部 15%（20 人）、東部 28%（37 人）
- 西部地区では過去 10 年で 2 番目の高水準。

米子署総件数の推移（4月末）



地区別発生割合（平成26年4月末）

